

アウトドアでの近視発見法



アウトドアでの近視発見法

生活環境も便利になり、街の景色から自然が少なくなつていくぶんだけ、自然を求めている人たちも多いようです。

屋外でも簡単にできる近視発見法を次に述べておきますので、参考にしてください。

●スポーツでの発見法

- ① サッカーなどをする場合に、子供がボールをしっかりと眼で追えているか。また、そのときに眼を細めていないか。
- ② 野球をする場合に、コントロールは確かなものか（近視の人にはキヤツチャーミットがよく見えない）。

●キャンプでの発見法

- ① 少し離れた場所の人が、だれか見分けられない。
- ② 夜空の星が見えない。

- ① 看板の文字がよく見えない。
- ② すれ違う知人に気がつかない。
- ③ 魚つりをしているときに、ウキの動きがわからず、なかなかうまくつれない。
- ④ 遠くの動植物の発見が遅い。

●散歩での発見法

- ① カンけりで、飛んでいったカンが見つけられない。
- ② すべり台の階段をよく踏みはずす。
- ③ 昆虫採集や植物採集がうまくできない。
- ④ 公園の時計がよく見えない。
- ⑤ 駐車している車のナンバーを、少し離れた距離から見分けられない。

以上、屋外での発見法を述べましたが、近視傾向にある子供は、室内にこもりがちになるようです。そのような場合も、近視の恐れがありますので、これまでに述べた発見法で確認し、まずは専門医に相談することをお勧めします。